

小児の心身障害予防・治療システムに 関する研究 平成5年度総括研究報告

主任研究者 加藤精彦

小児の心身障害の発症予防、治療、管理に関連すると思われる種種の因子のうち、特に生活環境や日常運動などの疾患に与える影響については、その実態や分析検討が必ずしも十分明らかにされていない。本研究ではかかる因子の子供の病気に対する影響を研究することを中心に、平成4年度は7班で、また平成5年度（本年度）は8班で構成され、それぞれ分担研究者を核として、多くの研究協力者によりそれぞれの研究がなされてきた。

即ち本年度は千野班による「補助装具に関する研究」は他に移ったが、新たに帆足英一分担研究者による「小児医療における療養環境のあり方に関する研究」班と、五十嵐正紘分担研究者による「普通の病気の研究」班が加わり、計8班の構成になっている。これら8班の分担研究者と研究課題名は以下の如くであるが、本年度中の研究成果の詳細については各班の報告の項を見て頂きたいが、共通研究項目として、心身障害疾患の日常生活の管理指針、指導要項を分かりやすくまとめて、保健指導、学校・社会生活に役立てたい視点から、小冊子の作成にも努力中であり、小児の慢性疾患児のQuality of Lifeの支援についても、各班の特徴と独自性を踏まえながら推進して行くことに尽力して貰っている。

西村昂三	「Death Education に関する研究」
加藤裕久	「川崎病のサーベイランスに関する研究」
近藤健文	「心身障害児の運動指導・生活管理に関する研究」
西間三馨	「長期療養児の心理的問題に関する研究」
仁志田博司	「乳幼児突然死症候群（SIDS）に関する研究」
田中敏章	「内分泌疾患児の生活管理・指導に関する研究」
帆足英一	「小児医療における療養環境のあり方に関する研究」
五十嵐正紘	「小児期に多いcommon diseaseに関する研究」



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



小児の心身障害の発生予防、治療、管理に関連すると思われる種々の因子のうち、特に生活環境や日常運動などの疾患に与える影響については、その実態や分析検討が必ずしも十分明らかにされていない。本研究ではかかる因子の子供の病気に対する影響を研究することを中心に、平成4年度は7班で、また平成5年度(本年度)は8班で構成され、それぞれ分担研究者を核として、多くの研究協力者によりそれぞれの研究がなされてきた。

即ち本年度は千野班による「補助装具に関する研究」は他に移ったが、新たに帆足英一分担研究者による「小児医療における療養環境のあり方に関する研究」班と、五十嵐正紘分担研究者による「普通の病気の研究」班が加わり、計8班の構成になっている。これら8班の分担研究者と研究課題名は以下の如くであるが、本年度中の研究成果の詳細については各班の報告の項を見て頂きたいが、共通研究項目として、心身障害疾患の日常生活の管理指針、指導要項を分かりやすくまとめて、保健指導、学校・社会生活に役立てたい視点から、小冊子の作成にも努力中であり、小児の慢性疾患児の Quality of Life の支援についても、各班の特徴と独自性を踏まえながら推進して行くことに尽力して貰っている。